VDA-25A 取扱説明書

1. 概説

VDA-25Aはアナログ映像信号又は、BBS、3値シンクを8分配する装置です。出力信号レベルの調整ができます。

特 長

- ●1 入力を 8 分配することが可能
- ●出力信号レベルを調整可能
- ●NTSC と PAL に対応

2. 機能チェック

1. 構 成

	品名	型名･規格	数量	記事
1	アナログ映像分配器	VDA-25A	1	
2	AC アダプター	VAC-12V01A	1	ケーブル長1.5m
3	取扱説明書		1	本書

2. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

P-5「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

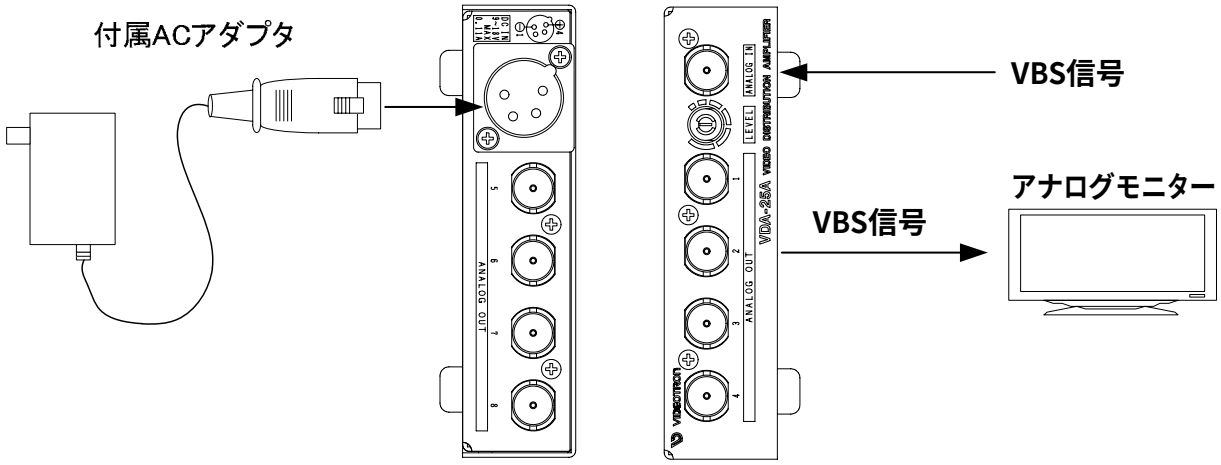


図2-1 基本動作チェック

⑴ VBS信号をANALOG INコネクターに入力します。
⑵ ANALOG OUTコネクターの出力信号をアナログモニターに入力します。
⑶ 本体の電源コネクターに付属のACアダプターを接続します。
⑷ ACアダプターをAC100Vのコンセントに接続します。
⑸ モニターに、入力された映像が表示されていることを確認します。

3. 各部の名称と働き

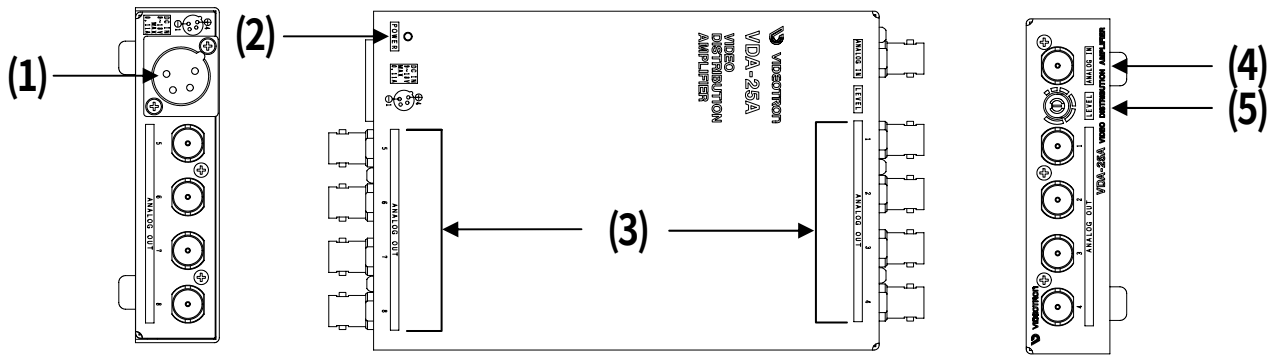


図3-1 各部の名称と働き

⑴ 電源コネクター　：DC9V～18Vを接続します。
⑵ 電源ランプ　：電源が供給されているときに緑点灯します。
⑶ ANALOG OUTコネクター　：ANALOG OUT1～8の分配出力です。
⑷ ANALOG INコネクター　：VBS信号又は、BBS、3値シンクを入力します。
⑸ LEVEL VR　：出力信号の映像信号レベルを可変します。
可変範囲は、約0.9～1.25Vp-pです。
時計方向に回すと、レベルが高くなり、反時計方向に回すとレベルが低くなります。

4. 操作方法

P-5「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

1) 電源コネクターにDC9V～18Vを供給すると、数秒後に電源ランプが点灯します。電源スイッチはありません。

2) ANALOG INコネクターにVBS信号を入力します。

3) ANALOG OUTコネクターをアナログモニター等に接続します。

4) LEVEL VRで任意の出力信号レベルに調整します。

5. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。

現 象　電源が入らない！
原 因　・電源電圧は正常ですか？
・電源コネクターのピンアサインは間違っていませんか？
→ 付属のACアダプターを使用されない場合、ご注意ください。
※電源コネクターのピンアサインは、1番ピン：GND、4番ピン：DC9V-18Vです。ご確認ください。
→ 接続が正しく、電源ランプが点灯しない場合は、アダプターもしくは、本体の故障が考えられます。
当社製造技術部までご連絡ください。

現 象　映像が正常に表示されない！
原 因　・VBS信号は、正しく入力されていますか？
・ANALOG OUTコネクターは機器に正しく接続されていますか？
・使用しているケーブルは、断線していませんか？
→接続が正しく、映像が正常に表示されない場合は、本体の故障が考えられます。
当社製造技術部までご連絡ください。

6. 仕 様

1. 定 格

(1)VDA-25A

入力信号

・ANALOG IN	VBS、1Vp-p/75Ω、BNC 1系統

出力信号

・ANALOG OUT 1～8	VBS、1Vp-p/75Ω、BNC 各1系統
映像フォーマット	525i、625i
外形寸法	100(W)×25(H)×150(D)(突起物含まず)
質量	550g
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なき事)
消費電力	MAX0.11A (0.99VA)

(2)VAC-12V01A (付属AC電源アダプター)

電源入力	AC100～240V 47/63Hz、0.31A、平型2ピンプラグ
電源出力	DC+12V/1A 、XLR-4 (f) (1;-、4;+)
消費電力	MAX 1A (12VA)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なき事)

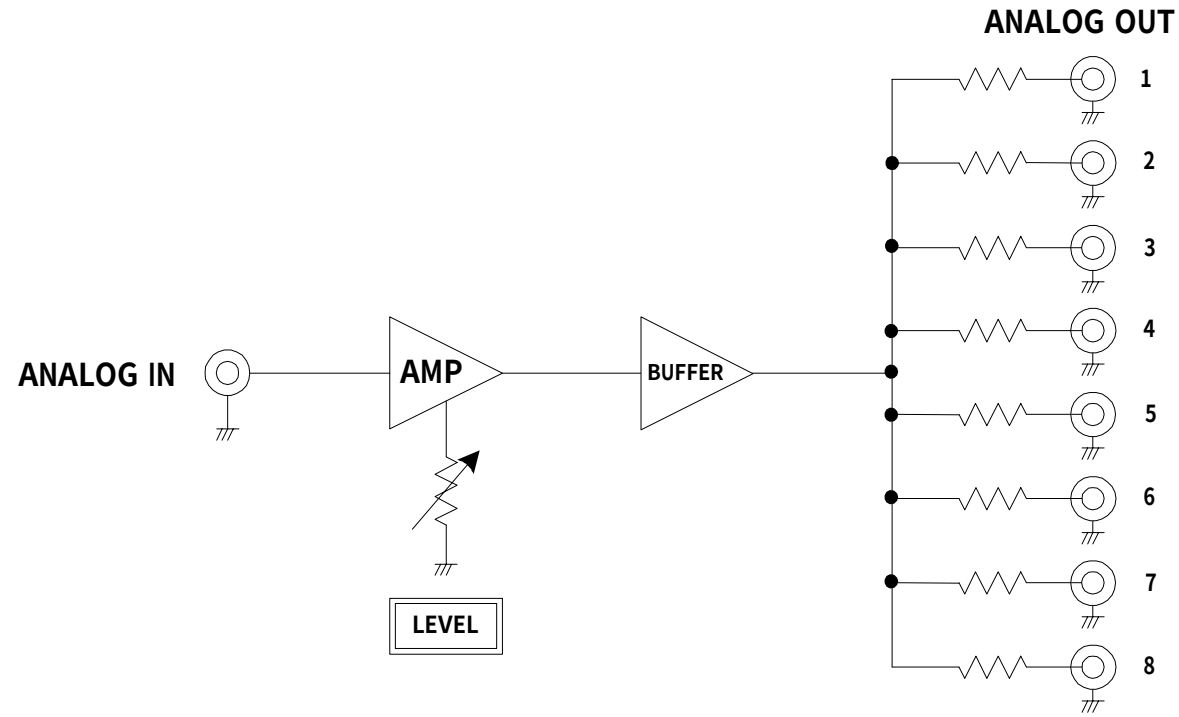
2. 性 能

出力特性

・ANALOG OUT 1～8

周波数特性	60Hz～15MHz ±0.3dB 以降下降特性
DG	±1.0%
DP	±1.0 °
波形特性	k=1 以下 (2T パルス)
S/N	58dB 以上

7. 系統図



この製品を安全にご使用いただくために

誤った取り扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。
本製品を安全にご使用いただくために、以下の記載内容をお守りください。

表示・記号の説明

警告	この表示は、警告を守らないで誤った取り扱いをすると、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となることを示します。
注意	この表示は、注意を守らないで誤った取り扱いをすると、感電などによる事故やケガ、または機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあることを示します。

記号の説明

	この記号は禁止（してはいけないこと）を示します。
	この記号は指示に基づく行為に対する強制を示します。

警告

1、電源プラグ、コードは

禁止	・指定された電源電圧（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。 ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。 ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。 ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。 ・AC 電源（室内電源）の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。 ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。 ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。 ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。 ・電源プラグにほこりがたまると火災の原因になります。定期的なお手入れをしてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

指示	・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。 ・空調設備を確認してください。 ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。 ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。 ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くではタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

禁止	・機械の近くでタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。 ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

分解禁止	下記のあやまちにより機械が発火し火災の原因になります。 ・部品の取り付け方法（極性の逆等）を誤ると危険です。 ・規格の異なる部品の交換は危険です。 ・修理、改造、分解を行わないでください。点検、修理などは弊社にご依頼ください。

5、機械を濡らさないでください。

水濡れ禁止	濡れた手で機械に触る、または水などの液体がかかる場所で使用すると火災や感電の原因になります。

6、その他

禁止	・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。 ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。 ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

注意

1．機械の持ち運び、設置場所に注意してください

禁止	・持ち運びなどに注意し、強い衝撃を与えないでください。落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。 ・直射日光、水漏れ、湿気、ほこりなどを避けて使用してください。 ・ぐらついた台の上や傾いた場所などに設置しないでください。安定していない場所や傾いた場所に設置すると製品の落下等でけがの原因になることがあります。置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。特に、車載して使用する時は確実に固定してください。

2．定期的なお手入れをおすすめします。

指示	・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。定期的なお手入れをおすすめします。 ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃をしてください。 ・電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。 期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

お問い合わせ・修理窓口

電話でのお問い合わせ先 **※電話番号はお掛け間違いのないようご注意ください。**

042－666－6329

月～金 8:30～17:00

042－666－6311 (留守番電話)

土曜・日曜・祝祭日 9:00～17:00

090－3230－3507 (携帯電話)

土曜・日曜・祝祭日 9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

FAX でのお問い合わせ先

042－666－6330

月～金 8:30～17:00

E-Mail でのお問い合わせ先

cs@videotron.co.jp

修理窓口

〒193-0835 東京都八王子市千人町2－17－16

ビデオトロン株式会社　　製造技術部

101227R03

無断転写禁止

・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。

・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。